様式第１号（第３条関係）

奨学資金貸与申請書

令和　　年　　月　　日

中津川市教育委員会　様

本　人（自署）

保護者（自署）

下記により奨学資金の貸与を申請します。　　（電話番号　　）

記

本人	ふりがな 氏　名			生年月日	年　　月　　日	
	現住所					
	学校名			学部等	学部　　学科　　年（　年制）	
保護者	ふりがな 氏　名			現 住 所		
	本人との続柄		職　業	勤 務 先		
			年　令			
生計を一にする者の状況	氏　　名	続　柄	年　令	職　業	勤　務　先 （申請年度の４月１日時点）	自宅・自宅外の別

本人の他制度よりの育英資金等の受給状況	名　称		市奨学金の希望貸与額	年額　　円
	受給額	年額　　円		

奨学資金貸与希望の理由

「奨学資金貸与申請書」記入上の注意

１　楷書で明瞭に記入してください。記入事項のない欄には「なし」と記入し、空欄を残さないでください。

２　「生計を一にする者の状況」欄には、同居別居にかかわらず同一生計内にて生活する全員について記入してください。別居している者でも家計を援助しているか、家庭から援助をうけている場合は記入してください。

３　「職業」欄には、「商業」等としないで「〇〇製造販売業」、「地方公務員」、「小学生」等としてください。
「勤務先」欄には、「〇〇商店」、「〇〇会社〇〇課」、「〇〇小学校〇年生」等のように具体的に名称を明記してください。

４　「本人の他制度よりの育英資金等の受給状況」欄には、他の制度による育英金又は奨学金を受けている場合、その名称及び受給額（年額）を記入してください。

５　「市奨学資金の希望貸与額」欄には、高校生（中等教育学校後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）・高等専門学校生・専修学校（高等課程）生は年額３６万円以内で、大学生・短大生・専門職大学・専門職短大生・専修学校（専門課程）生は年額６０万円以内で、貸与を希望される額（年額）を記入してください。

６　「奨学資金貸与希望の理由」欄には、奨学資金を希望する理由を具体的に詳しく記入するほか、選考に際し参考となる事項を記入してください。

様式第２号（第３条関係）

選奨生推薦調書

学校名	国・都・道・府・県・市・私立		
学部等	学部　　学科　　年	氏　名	

人　物　所　見	就学見込の有無
	有 無

参考意見
各学年の欠席日数

上記のとおり相違なく、かつ、選奨生として適当であると認められますので、推薦します。

年　　月　　日

中津川市教育委員会　様

校長　　職印

「選奨生推薦調書」の記入上の注意

１　「選奨生推薦調書」は、学校長において記入してください。

２　該当するものを〇で囲んでください。

３　成績証明書を添付してください。

４　「学校名」、「学部等」欄は、進学が決定した学校について記入してください。ただし、在学中で中途学年からの選奨生希望者については、現在在学中の学校について記入してください。

５　「人物所見」欄は、判断の傾向、情緒の傾向、責任感、自主性、公共心等について記入してください。

６　「参考意見」欄は、本人及び家庭の状態等について、申請書及び推薦調書の各欄に表れなかったことその他参考になることを記入してください。

様式第３号（第３条関係）

自宅付近地図

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

奨学資金貸与に関する調査票

奨学資金は貸与であり貸与終了後は返還の義務があります。また親ではなく学生自身が借用し返還するという意識づけや義務の自覚を持って頂く事を前提に募集を行っております。

本調査票は必ず貸与を受ける学生本人自書により記入してください。

１　中津川市奨学資金貸与申請にはご本人の希望で申請をされましたか。

はい　・　いいえ

２　中津川市選奨生に決定した場合、奨学資金はどのように活用されますか。

（　　）

３　中津川市選奨生に決定した場合、連帯保証人２名（うち１名は別世帯で独立した生計を営む方）が必要となります。連帯保証人には、奨学資金の趣旨や貸与から返還が終了するまでの間、連帯保証人としての責任を負うことなどについて、ご理解いただいていますか。

はい　・　いいえ　・　その他（　　）

４　卒業後、全額を返還することになりますがご自分で返還する意思をお持ちですか。

はい　・　いいえ

令和　　年　　月　　日

本人住所

本人氏名　　㊞

電話番号
（携帯）

進学理由書

令和　　年　　月　　日

名　前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１　進学先、または在籍している学校名等を記入してください。（令和８年４月１日時点）

学校名　：国・都・道・府・県・私立

学　部　：　　学部

学　科　：　　学科

学　年　：　　年（　　年制）

２　その学校に進学する、または進学した理由を記入してください。

※選考の際、参考とさせていただきます。

行が足りない場合は、裏面に記入してください。

記入例　様式第１号

奨学資金貸与申請書

令和〇年〇月〇日

中津川市教育委員会　様

本　人（自署）　中津　太郎
保護者（自署）　中津　一郎
（電話番号　0573-66-1111）

下記により奨学資金の貸与を申請します。

保護者の電話番号を記入して下さい。

記

本人	ふりがな 氏　名	なかつ　たろう 中津　太郎	生年月日	▲　年　▲　月　▲　日
	現住所	〒450-0001 愛知県名古屋市名古屋〇〇〇番地　名古屋アパート 103		
	学校名	名古屋私立大学	学部学科	法　学部　法　学科　1　年（〇　年制）
保護者	ふりがな 氏　名	なかつ　いちろう 中津　一郎	現住所	中津川市中津川 000-000
	本人との続柄	父	職業	会社員
			勤務先	かやの木商事㈱　営業部営業課
			年令	

申請年度の４月１日時点のものを記入してください。

修学年限を記入してください。

成年年齢に達した申請者については、「保護者」を「父母」、「兄」、「姉」、「生計維持者」等に読み替え記載すること。

生計を一にする者の状況

氏　名	続　柄				の別
中津　一郎	父	51	会社員	かやの木商事㈱営業部営業課	自宅
中津　花子	母	49	無職		
中津　ひさこ	祖母	81	無職		自宅
中津　はるか	姉	20	大学生	私立関西文理大学3年	自宅外
中津　太郎	本人	18	大学生	名古屋私立大学1年	自宅外
中津　健二	弟	16	高校生	県立坂本高等学校2年	自宅

※【保護者】欄と同じ方もご記入ください

本人の他制度よりの育英資金等の受給状況	名　称	日本学生支援機構奨学金	市奨学金の希望貸与額	年額　60万　円
	受給額	年額　60万　円		

奨学資金貸与希望の理由

私と姉は自宅外（アパート）から大学に通っているので、アパート代や学費などがたくさんかかります。そのための支出（生活費）がかかり、母は祖母の介護で勤めることができません。私も休みにはアルバイトをして、家計を助けるつもりですが、父母の金銭的な負担を助けるため、奨学資金の貸与を希望します。

選奨生申請書類提出時チェック表

下記チェック表によりご確認の上、申請書類一式をご提出ください。

☐ 奨学資金貸与申請書（様式第１号）

☐ 同一生計内で生活する方の住民票の写し（世帯全員・全項目入り）

☐ 在学する学校長若しくは学長、又は出身の学校長若しくは学長の発行する選奨生推薦調書（様式第２号）

・・・学校長記入のもの。大学へ進学した方は出身高校、高校へ進学した方は出身中学校、中途学年からの方は現在の在学校で記入してもらったものであること。

☐ 学業成績証明書

・・・学校長発行のもの。大学へ進学した方は出身高校、高校へ進学した方は出身中学校、中途学年からの方は現在の在学校で取得したものであること。

☐ 所得課税証明書

・・・保護者のもの。父母ともに収入がある場合は両方の証明書を必ず提出。
令和７年度（令和６年分）のものであること。

☐ 中津川市の自宅付近地図（様式第３号）

☐ 奨学資金貸与に関する調査票

☐ 進学理由書

☐ 全ての書類の記入・押印もれの確認